

IAMDで協力強化

日米豪国防相会談 敵基地攻撃連携へ

アジア安保会議

シンガポールで開かれており、アジア安保会議（シャングリラ会議）で3日、浜田靖一防衛相、オースティン米国防長官、マールズ豪国防相が会談しました。発表された共同声明では、「ミサイル防衛」と敵基地攻撃を一体化させた米国の「統合防空ミサイル防衛」（IAMD）での3カ国協力の強化が明記されました。

IAMDは中国を念頭に、他国領域への先制攻撃を防ぐミサイル攻撃網です。日本は昨年末の安保3文書で、

シンドパールで開かれており、アジア安保会議（シャングリラ会議）で3日、浜田靖一防衛相、オースティン米国防長官、マールズ豪国防相が会談しました。発表された共同声明では、「ミサイル防衛」と敵基地攻撃を一

敵基地攻撃能力の保有とともにIAMDの導入を決定。政府は「米

が、米国はIAMDをインド太平洋全域に拡大するため、同盟国の参加を求め、事実上、米国指揮下に置くことを想定しています。米

インド太平洋軍の「IAMD2020」によると、

AMでは、同盟国の主軸として日豪を想定。今回

の共同声明で、日本がIAMDに本格的に組み込まれる危険が鮮明になりました。

また、共同声明は、「日本の反撃能力の保有及び豪州の長距離打

ミサイル開発にも着手しています。また、3カ国の共同訓練などの計画策定で一致。F-35ステルス戦闘機による3カ国

の訓練を豪州で実施することと合意しました。安保法制に基づく「武器等防護」の定期化も盛り込まれました。

また、声明は「米国は、核を含むあらゆる能力に裏打ちされた日本及び韓国に対する確固たる同盟の「コミットメント」を確認。米

ミサイル情報即時共有

対北朝鮮 日米韓国防相が声明

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

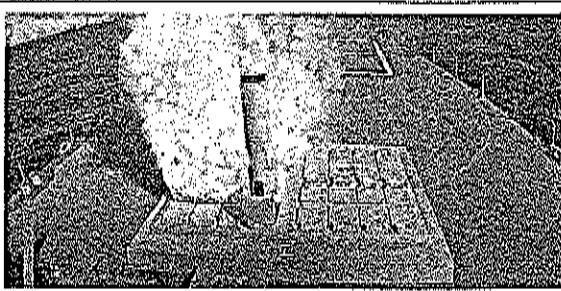
日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）



日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）

日本が購入を予定しているトマホーク・ブロードキャストの発射試験（2020年12月、米レイセオン社の動画から）